

芝浦工業大学柏高等学校

2020 年度高校入試分析

国語

全体を通して

第1回・第2回とも「論説文」「随想または小説」「古文」の3題構成、および各回それぞれの設問も、問数・設問内容・レベルが同じになるように作られています。すべて選択式問題ですが、漢字の問題、文章を踏まえた意見やその根拠を選ぶ問題、古文の問題で差がついています。

差のつく問題について

- ①漢字の問題（2回一（1）①「詠嘆」、②「親疎」）で20%以上の差がつかしました。同音異義語なども含め、語句の知識を深めましょう。普段から論説文などを読み、知らない語は調べるように習慣づけるとよいでしょう。
- ②論説文では、ただ文章を読むだけでなく、二つの文章を比べ読みしたり、筆者の主張を読んで（根拠にして）自分の意見をもったり具体例を考えたりする、といった思考力を問う問題を継続して出題しています。普段から文章を読む際に難しい語句や内容を自分なりにかみくだいて理解し、それに対する意見を持てるようにしておきましょう。
- ③小説でも論説文と同様に本文中に根拠をもつことを忘れてはいけません。答えを確定させる前に、思い込みによらないように必ず本文に立ち返るようにしましょう。表現の特徴を問う問題もなんとなくではなく、きちんと本文中の表現に戻って判断するようにしましょう。
- ④古文では、1、2回とも、ほとんどの問題で15～20%前後の差がついています。練習量の差であると思われます。できるだけ時間を見つけて古文に触れ、音読する機会を増やすとよいでしょう。その際、主語（動作主）が誰なのか、何をしているのか、指示語は何を指すのか、などを意識しながら読むようにしましょう。

①漢字【第2回一(1)】

- | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|--------------|--|---|--|---|---------------|--|
| オ
ウ
エ
安全
管理
のた
めに
必要
なソ
チを
講じ
る。 | ウ
世
話に
なっ
た人
にソ
シナ
を送
る。 | イ
遠
く離
れて
もソ
コク
のこ
とを
思
う。 | ア
仲
のよ
かつ
た友
人と
ソエ
ンに
なる。 | ⑤
シン
ソ | オ
大
勢
の
人
の
前
で
漢
詩
を
ロ
ウ
エ
イ
し
た。 | エ
彼
は
エ
イ
ビ
ン
な
感
覚
を
も
っ
て
い
る。 | ウ
ゼ
ン
エ
イ
的
な
作
品
に
見
入
る。 | イ
会
場
の
セ
ツ
エ
イ
を
手
伝
う。 | ②
エイ
タン | ア
人
類
の
エ
イ
ゾ
ク
的
な
発
展
を
願
う。 |
|---|--|---|---|--------------|--|---|--|---|---------------|--|

(5) 文章中に 高校生らしさ^D とあるが、これについてクラスで次のような話し合いが行われた。本文全体の内容と合う意見を述べている生徒を二人選び、ア～キの記号で答えなさい（解答の順序は問わない）。

Aくん 筆者も述べているように、高校生らしさは時代とともに変わっていくものです。今の大人たちが高校生だった頃とは世の中は大きく変わっているのだから、大人は自分たちの価値観を僕らに押しつけるのをやめるべきだと思います。

Bさん 何が高校生らしいかということは、私たち一人一人の個人的な問題だと思います。ある人にとってはボランティア活動が大事でも、他の人にとっては、そうとは限らないはずです。

Cくん 高校生らしさという言葉は、高校生にとっても、大人にとっ

ても、とてもあいまいで、それが何を指すのかはつきりしないところがあると思います。まず何を指すのかを明らかにして、みんなが納得できるようにすることから始めるべきではないでしょうか。

Dさん 高校生とは言え、許される行為とそうでない行為というのはあると思います。世の中の価値観はめまぐるしく変わるから、もし判断に迷うようなことが出てきたら、大人に指導してもらう方が安心でしょう。何といっても、大人には長年の経験があるのですから。

Eくん 高校生らしさというのは、一種の雰囲気みたいなもので、確かにあやふやなところがあります。けれども、そういうものが出来上がったのは、それなりに理由があつてのことだから、理由を自分なりに考えるなどして、自分がどうふるまうべきか、しっかり考えたいと思います。

Fさん 時代の変化とともに、高校生らしさも変わってきたのですから、単に今の大人がそのように言うからという理由だけでそれに従うというのはナンセンスです。自分が正しいと思う方向に世の中を変えるために、周囲の批判には耳をふさいでも行動を起こすべきです。

Gくん 自分のやりたいことが高校生らしくないと批判されるようなら、そもそも高校生らしいとはどういうことかという根本に立ち返って議論すべきです。そのようにして納得した上で、自分のスタンスを決めるほうがいいと思います。

③小説問題【第1回二(6)】

(6) 本文の表現の特徴を説明したものとして最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア 登山に使う道具や最新型車椅子についての説明を細かく書き添えていることで、読みすすめるうちに読者に多様な知識が身につくようになっていく。

イ 「青い丸天井」や「色白の丸顔」など、色を交えた描写を多用することによって、無機質な病院での生活と「彼」の暗い心情が際立つようになっている。

ウ 会話を最小限にとどめ、主人公の考えを中心にして身近な場面を描写することによって、読者が主人公になったつもりで読み進めるようになっている。

エ 「斬新だ。かっこいい。」と、短い文で重ねて「彼」の心情を描写することによって、「彼」が普段から思索にふける人物だと感じさせるようになっている。

オ 現在の視点から、主人公の生活を変えた過去の出来事を振り返ることによって、読者が主人公の心情をより深く理解することができるようになっている。

④古文問題【第2回三(2)】

(2) 文章中の 今日^A 欠き侍るべきにあらず は、どういうことか。最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア 園の別当入道が、今日から百日の間ずっと鯉を切ることにしたので、ただちに切り始めようと言っているということ。

イ ある人が、園の別当入道の包丁さばきを見せてもらうために、百日の間ずっと鯉だけは切らなかったということ。

ウ 多くの人々が、百日の間ずっと園の別当入道が鯉を切るのを見たいと思っているのだから、見せるべきだということ。

エ 園の別当入道が、百日の間ずっと鯉を切ることになっているので、今日だけ切らないわけにはいかないということ。

オ せっかくなので百日の間ずっと鯉を切ることにしていた園の別当入道が、この日に限って切らなかったということ。

数学

全体を通して

1 小問集合、2 二次関数、3 場合の数と確率、4 平面図形、5 空間図形 の5題構成で広い分野から出題をしています。例年、図形の問題や図形に関わる問題で差がつく傾向があります。

差のついた問題について

今年度の入試の差のつく一問は関数の問題と空間図形の問題となりました。関数の問題は平行四辺形を作る条件や三角形の面積に関する問題など平面図形と関わりがある内容の出題でした。空間図形の問題も展開図をもちいることによって平面図形として考える部分が含まれていました。

- 2** 放物線 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフ上に2点 A, B があり、
点 A の x 座標は -4 、点 B の x 座標は 6 である。
また、2点 A, B 間の放物線上を動く点を P とし、
点 P の x 座標を t とする。

- (1) $t = 3$ のとき、直線 AP の式は

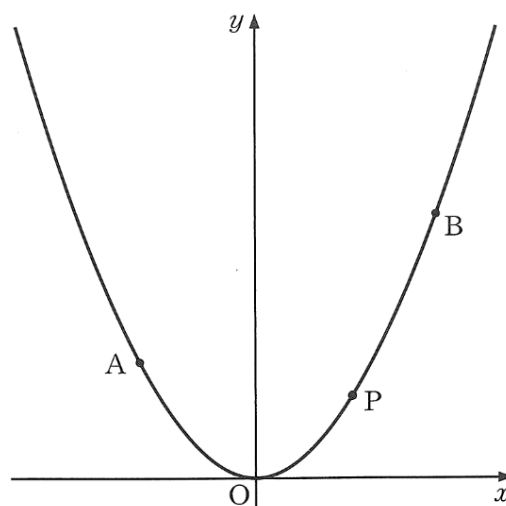
$$y = -\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}x + \boxed{\text{ウ}}$$

- (2) $t = -2$ のとき、 $\triangle ABP$ の面積は $\boxed{\text{エオ}}$

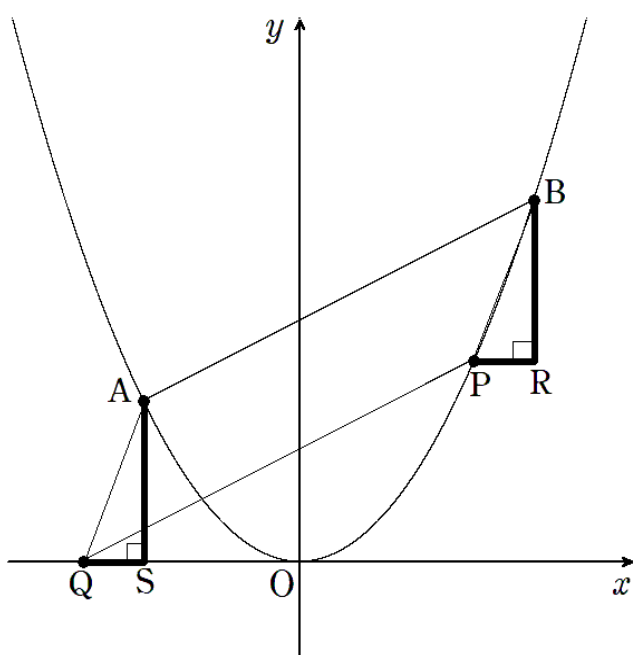
- (3) $t > 0$ とし、 x 軸上に点 Q をとる。

四角形 ABPQ が平行四辺形となるとき、点 P の x 座標は $\boxed{\text{カ}}\sqrt{\boxed{\text{キ}}}$

- (4) $\triangle ABP$ の面積が y 軸によって2等分されるとき、 $t = -\frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}}$



第1回 2(3)

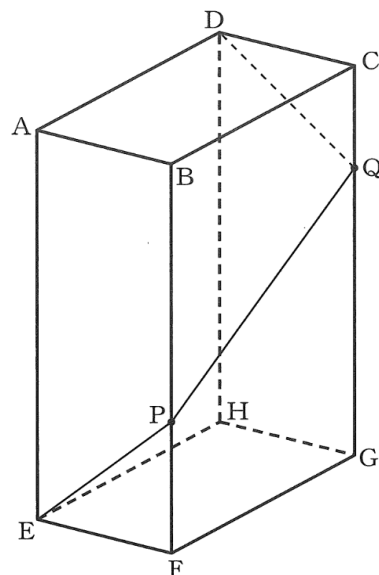


四角形 ABPQ は平行四辺形から $AQ \parallel BP$ 、 $AQ = BP$ となります。
図のように、点 S を $AS \perp QS$ 、
点 R を $BR \perp PR$ となり、 AS, BR が y 軸と平行となるように、それぞれとると、
 $\triangle ASQ \cong \triangle BRP$ となります。
よって、 $AS = 4$ なので $BR = 4$ です。
これより、P の y 座標は $9 - 4 = 5$ であり、
 $y = \frac{1}{4}x^2$ に代入することで $x = \pm 2\sqrt{5}$ 、
 $t > 0$ から点 P の x 座標は $2\sqrt{5}$ となります。

5 $AB = 3\text{ cm}$, $BC = 6\text{ cm}$, $AE = 8\text{ cm}$ の直方体 $ABCD-EFGH$ がある。

辺 BF , CG 上に点 P , Q を, $EP + PQ + QD$ の長さがもっとも短くなるようにとる。

次に 3 点 P , Q , D を通る平面でこの直方体を 2 つに分ける。



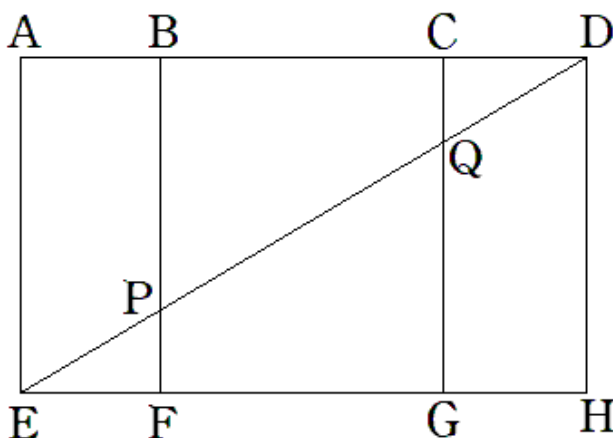
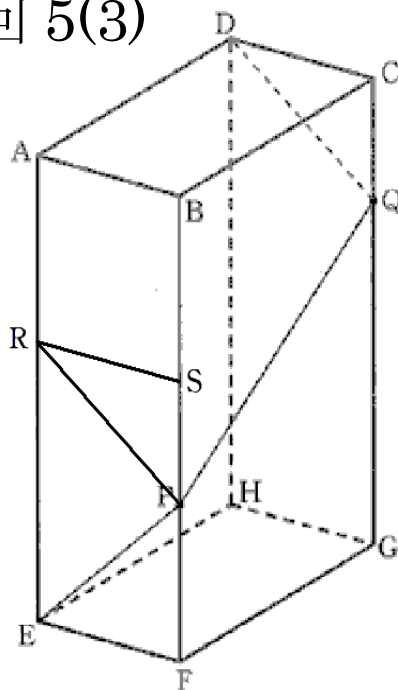
(1) $PF = \boxed{\text{ア}}$ cm

(2) $PQ = \boxed{\text{イ}}\sqrt{\boxed{\text{ウ}}\boxed{\text{エ}}}$ cm

(3) 3 点 P , Q , D を通る平面と辺 AE との交点を R とするとき, $AR = \boxed{\text{オ}}$ cm

(4) 直方体を切り口の平面で 2 つに分けたとき, 頂点 B を含む方の体積は $\boxed{\text{カ}}\boxed{\text{キ}}$ cm^3

第 1 回 5(3)



条件より, $PR \parallel QD$ となります。左図のように点 S を $DC \parallel RS$ となるように辺 BF 上にとると $AR = BS$ となります。また, $BS = BP - SP$ と表すことができます。さらに, $\triangle DCQ \equiv \triangle RSP$ となるので $BS = BP - CQ$ となります。右図は直方体の展開図です。この図から, $DC : DA = CQ : AE$ なので $CQ = 2$, $DC : DB = CQ : BP$ なので $BP = 6$ となります。これより, $AR = BS = 6 - 2 = 4$ となります。

英語

全体を通して

平均点は前期第 1 回が 49.9 点、第 2 回が 53.8 点と前年と比べて、全体として問題がやや難化しました。リスニングの平均正答率は第 1 回が 80%、第 2 回が 76%で、リスニング問題については昨年度より、受験生の正答率が上がっています。一方、長文総合問題では、内容一致問題、整序問題、文法的または文脈に合った単語を選ぶ穴埋め問題など多くの形式で、受験者の総合的な力を見る出題となりましたが、長文総合問題の平均正答率は、第 1 回 44%、第 2 回 49%と、合格者と不合格者の正答率の差が大きく開く問題が例年より多くみられ、長文総合問題が難しくなったと捉える受験生が多くいたのではないかと思います。

差のついた問題（英語）

高校前期 1 回

6 第 1 段

Africa is home to a large variety of wildlife in the world ---- from mountain gorillas in Rwanda to monkeys of Madagascar. In the past 50 years, however, ①the wildlife of Africa has been greatly reduced. In the savanna areas there were once herds of zebras, wildebeests, and antelopes. Their predators were with them: the lions, cheetahs, and leopards. Other large-animal groups included the hyenas, jackals, rhinoceroses, hippopotamuses, and elephants. The number of these animals is decreasing because of overhunting and because their living areas have been taken over for farming.

(1) 本文中の下線部①の原因の一つとして適当なものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア Because the places for wild animals have been taken over by people.

イ Because scientists have killed many animals for research.

ウ Because many animals have been eaten by their predators.

エ Because people have brought animals from other countries to Africa.

解説

下線部①の原因を選ぶ問題ですが、こういった問題は下線部の直前直後を見れば答えを見つけられることが多いと、多くの受験生が経験として知っていると思います。しかし、この答えの根拠となる箇所は直前直後にはありません。このような場合、下線部①にある「the wildlife of Africa has been greatly reduced」の言い換えとなる部分を本文から探すことが必要です。下線部①の言い換えが、第 1 段の最後の文にある「The number of these animals is decreasing」に該当します。その後に理由として「because of overhunting（（動物たちの）乱獲）」と「because their living areas have been taken over for farming（農場経営のために動物たちが生息地を奪われた）」の 2 つが挙げられており、2 つ目の理由が述べられているアが正解です。

高校前期 2 回

6 第 5 段

By working to develop the inherent good qualities each one of us possesses, we can strengthen and improve our skills. Many people think that old age is a cue to simply do nothing. Studies have shown that physical as well as mental exercise improves health and well-being in the later years of life. ⑤Don't let the candles on a birthday cake stand in the way.

解説

下線部⑤の意味を説明する問題ですが、ただ文字通りに「誕生日のケーキのろうそくを、そのような方法で立てないように」と読んでも正解にたどり着けるわけではありません。「in the way」とはどういった内容かを考える必要があります。本文全体の流れを追ってみます。第 1 段では、ろうそくの数には年齢を示すだけだが、年齢によって人生の在り方が変わってくるのだ、と書かれています。また第 3 段・第 4 段では、中年以降に成功した人物の例が挙げられ、第 5 段の 1 文目には、自分が本来持っている素質を伸ばす作業をしていくことで、自分の能力を育て、伸ばすことが出来ると書かれています。ここまで読めれば全体の趣旨がわかりますね。ところが、その後の第 5 段 2 文目にある「Many

people think that old age is a cue to simply do nothing.」は、「多くの人は、老いることは何もしないようにとの合図であると思っている」と言う意味で、今までの本文の趣旨と異なる内容です。そのような考えを持つべきではないというのが趣旨ですから、下線部⑤の「stand in the way」とは「（ろうそくが）行く手をはばんで（立っている）」という意味だとわかります。つまり、年齢によって人生を左右されると考えるべきではないというイの選択肢が正解であるとわかります。

理科

全体を通して

1, 2 回入試いずれも生物・地学・化学・物理から 2 題ずつの 8 題構成になっています。生物・地学・化学・物理がまんべんなく出題され、2020 年度入試の合格者平均の得点率は約 55 ~ 65 % でした。2021 年度入試ではそれぞれの大問の難易度をより丁寧に調整し、70% を狙います。よって、極端な苦手分野があるとボーダーラインに届きにくくなりますので、各分野バランスよく学習する必要があります。

差のついた問題について

例年、合格者と不合格者で大きく差がついているのは、計算問題です。

- ① 2 段階にわたる計算問題
- ② グラフや表から読み取った数値を用いて計算に繋げる問題

2020 年度入試でもっとも差がついた問題例【1】

① 2 段階にわたる計算問題

2 回入試より 4

実験 2

6 V - 9 W の電熱線 Y と 6 V - 18 W の電熱線 Z を 1 個ずつ並列につないだものと、直列につないだものを用意した。4 つのポリエチレンのビーカーに 25°C の水を 150 g ずつ入れ、電熱線 Y と Z を並列につないだものは図 2 のように、電熱線 Y と Z を直列につないだものは図 3 のように、電源装置、電流計、電圧計をつないだ電熱線と温度計を水の中にそれぞれ入れた装置をつくった。どちらの回路も電源装置の電圧を 6.0 V にし、ときどき水をかき混ぜながら電流を流した。

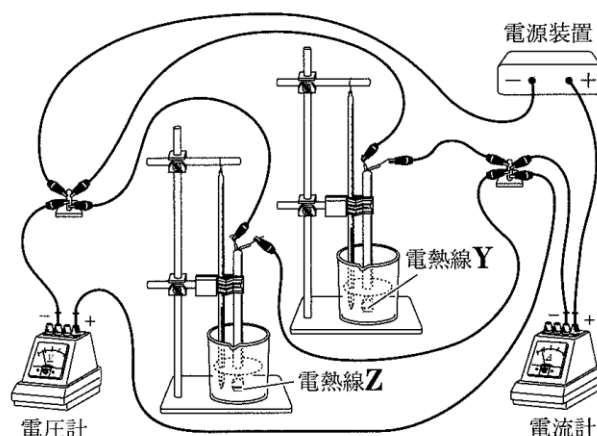


図 2

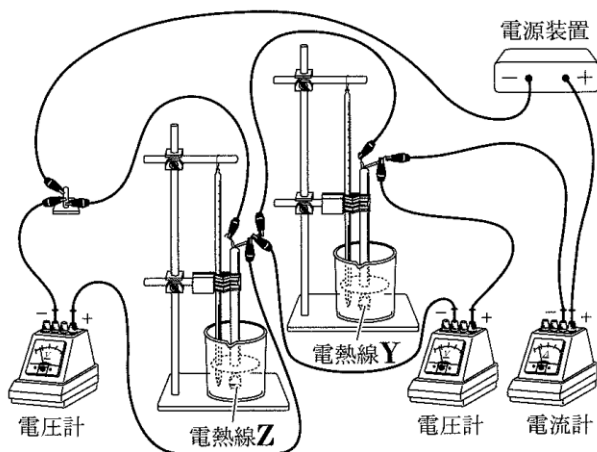


図 3

(5) 実験2で、図3の電熱線Zを入れた水の温度が4℃上昇するのにかかる時間は何分ですか。 あ ,
い にあてはまる数字を一つずつ選びなさい。
あ い 分

図が複雑なので分かりにくいですが、落ち着いて整理すると直列接続であることがわかります。電源装置の電圧は6.0Vなので、電熱線Y,Zに加わる電圧が6.0Vではないことがわかります。問題文に書かれている電熱線Y,Zの電力は6Vの電圧が加わった時の値なので、この回路における電熱線Zの電力 P_Z を求めなければなりません。

そこでまず、6V - 9Wの電熱線Yの抵抗 R_Y を求めます。

電力を求める式 $P=IV$ (電力 P , 電流 I , 電圧 V)より、電熱線Yに加わる電圧が6Vの時、電熱線Yに流れる電流 I_Y は $9 = I_Y \times 6 \rightarrow I_Y = 1.5 \text{ A}$

よって、オームの法則 $V=RI$ (電圧 V , 電流 I , 抵抗 R)より、 $6 = R_Y \times 1.5 \rightarrow R_Y = 4.0 \text{ W}$

同様にして、6V - 18Wの電熱線Zの抵抗 R_Z を求めると、 $R_Z = 2.0 \text{ W}$

ここまでで、電熱線Y,Zの抵抗がそれぞれ求まったことになります。

直列接続の場合、電熱線Y,Zに加わる電圧 V_Y, V_Z は抵抗 R_Y, R_Z に比例することがわかっています。電源装置の電圧は6.0Vなので、

$$V_Z = 6.0 \times \frac{R_Z}{R_Y + R_Z} = 6.0 \times \frac{2.0}{4.0 + 2.0} = 2.0$$

$V_Z = 2.0 \text{ V}$ となり、この時、電熱線Zに流れる電流 I_Z は、オームの法則より

$$I_Z = \frac{V_Z}{R_Z} = \frac{2.0}{2.0} = 1.0$$

$I_Z = 1.0 \text{ A}$ と求まります。よって、電力 P_Z は、

$$P_Z = I_Z \times V_Z = 1.0 \times 2.0 = 2.0$$

$P_Z = 2.0 \text{ W}$ ですので、150gの水を4℃上昇させるために必要な熱量 Q_Z は $Q_Z = 150 \times 4 \times 4.2 = 2520$

熱量を求める式 $Q=Pt$ (熱量 Q , 電力 P , 時間 t)より、2520 Jの熱量を得るために必要な時間 t [s]は、

$$t = \frac{Q_Z}{P_Z} = \frac{2520}{2.0} = 1260$$

よって、答えは $1260/60 = 21$ 21分

計算の過程が長くなるので、落ち着いて整理しながら解く力が求められます。

2020年度入試で2番目に差がついた問題例【1】

② グラフや表から読み取った数値を用いて計算に繋げる問題

1 回入試より 7

実験 1

- ① 図1のように、ステンレス皿に銅粉 1.6 g をうすく広げ、ガスバーナーで加熱した。
- ② ステンレス皿が冷えてから、ステンレス皿だけをのせたときに 0 g を示すように調整した電子てんびんで、全体(ステンレス皿と加熱した銅粉)の質量を測定した。
- ③ 質量が変化しなくなるまで①、②をくり返した。
- ④ ①～③と同様の操作を、銅粉の質量を 3.2 g, 4.8 g, 6.4 g と変えて行った。

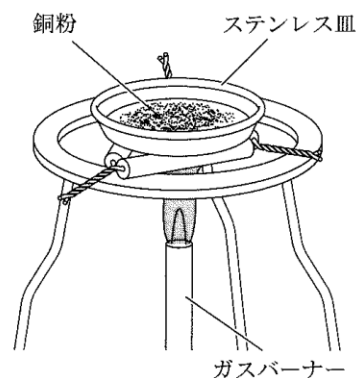


図 1

表は、加熱しても質量が変化しなくなったときの結果をまとめたものである。

表

銅粉の質量[g]	1.6	3.2	4.8	6.4
加熱後の質量[g]	2.0	4.0	6.0	8.0

実験 2

- ① 実験 1 で、銅粉を質量が変化しなくなるまで加熱してできた物質と炭素粉末をよく混ぜ合わせ、試験管に入れた。
- ② 図2のような装置を組み立てて混合物を加熱したところ、石灰水が白くにごった。また、試験管の中には銅が残っていた。

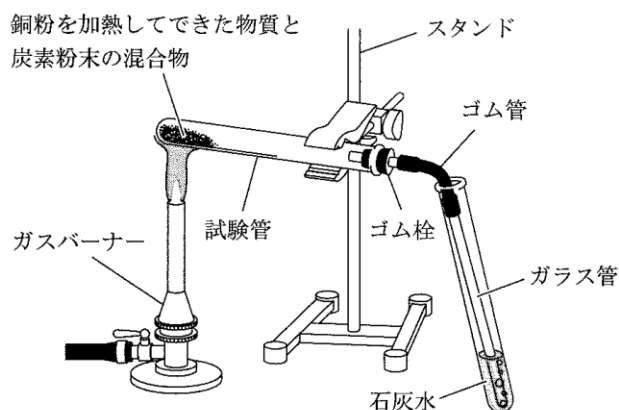


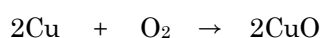
図 2

(5) 実験 2 で、銅粉を質量が変化しなくなるまで加熱してできた物質 8.0 g と炭素粉末をよく混ぜ合わせて加熱し、すべて銅にしたとき、炭素粉末が過不足なく反応しました。このとき混ぜた炭素粉末は何 g ですか。 あ い にあてはまる数字を一つずつ選びなさい。ただし、酸素分子 1 個と二酸化炭素分子 1 個の質量比を 8 : 11 とします。

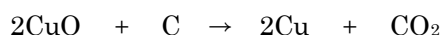
あ い g

この問題においては、生じた化学反応がどういったものを理解できたかがポイントです。

まず、質量が変化しなくなるまで加熱した物質とは、銅が空気中の酸素と結びついた酸化銅と考えられます。



酸化銅に対して、炭素粉末を加えて加熱した際に生じたものは、本文の「石灰水が白くにごった」の記述より二酸化炭素と判断できるので、化学反応式では次の様に説明されます。



このとき、設問は過不足なく反応する炭素粉末の質量を聞いているので、生じた二酸化炭素の質量から酸化銅より出ていった酸素の質量を引けば求められます。

銅と反応したであろう酸素分子が本文の表より $8.0 \text{ g} - 6.4 \text{ g} = 1.6 \text{ g}$ と求まるので、酸素分子と二酸化炭素分子の質量比から、生じた二酸化炭素の質量は $8 : 11 = 1.6 \text{ g} : x$ となり、 2.2 g が生じた二酸化炭素の質量だと計算できます。二酸化炭素から酸素の分の質量を引けば炭素の質量が求まるので、 $2.2 \text{ g} - 1.6 \text{ g} = 0.6 \text{ g}$ が答えとなります。よって、あ = 0、い = 6 となります。

社会

全体として

社会は、地理・歴史・公民全分野から出題されます。3分野の配点は、公民分野の配点がやや少なめです。千葉県立高校の入試を参考にして、基礎学力を問う出題を中心に構成していますので、まずは基礎・基本事項を丁寧に学習して入試にのぞんでください。

文章正誤問題が比較的多く出題されます。自分の知識＝学習成果を活かして、正解を導く作業が必要です。内容の理解に十分努めて学習を重ねてください。

また苦手な分野があると、そこでの失点が大きくなりますので、苦手分野の対策も怠らないように心掛けて、3分野とも得点できるように準備してください。

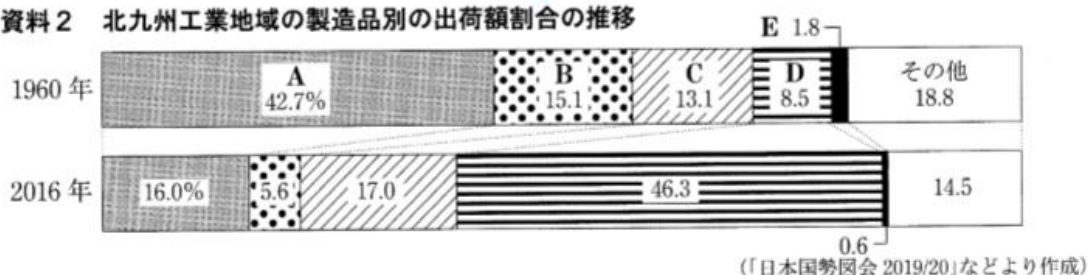
差のついた問題について

(地理) 第1回入試大問1の(4)

(4) 次の資料2は、図中の北九州工業地域の製造品別の出荷額割合の推移を示したものであり、資料2

中のA～Eは、化学、機械、金属、食料品及びせんのいずれかの工業にあてはまる。A、Dにあてはまる工業の組み合わせとして最も適当なものを、あとのア～カのうちから一つ選びなさい。

資料2 北九州工業地域の製造品別の出荷額割合の推移



ア A:せんい	D:機械	イ A:せんい	D:金属	ウ A:食料品	D:化学
エ A:食料品	D:金属	オ A:金属	D:化学	カ A:金属	D:機械

日本の工業地域とその変化を統計から読み取る問題です。全体の正答率は 59%でしたが、合格者と不合格者との間で 26%の差が開いています。

工業地域の特徴は、どのような工業が発達するか、の立地条件を理解すること。変化を読み取る上では、どのような時代背景でグラフに現れている変化が生じているのかをとらえることが大切になります。1960年から2016年の56年間に、その地域のみならず、日本全体でどのような変化があったのか、思考を凝らしながら取り組んだ人が正しい解答にたどり着いたのではないかと考えられます。

かつて北九州工業地域は筑豊炭田の石炭と中国からの輸入鉄鉱石といった原料を得やすいという立地条件を背景に、鉄鋼を中心とした金属工業がさかんでした。しかし、輸入原料が多くなってきたことから、国内の金属工業における北九州の相対的な地位は下がりました。よってAが金属となります。

変わって臨海部に自動車工場が立地するなど、機械工業の比率が上がるようになりました。Dが機械となります。

各工業地域で最も多い製造品を表面的に暗記するだけでは正解できない問題です。その工業地域が置かれた条件を理解し、変化の引き金となったトピックを考え、それらを整理しながら正解を絞っていくことを、日ごろの学習より心掛けてほしいと思います。

(歴史) 第1回入試大問4 (6)

(6) Eの文中の下線部fに関連して、次のⅠ～Ⅲの文は、朝鮮戦争の開始以降に起こったできごとについて述べたものである。Ⅰ～Ⅲの文を年代の古いものから順に並べたものを、あとのア～カのうちから一つ選びなさい。

Ⅰ 石油危機が発生し、日本の高度経済成長が終わった。

Ⅱ 日本の国民総生産(GNP)が、資本主義諸国の中で第2位に上がった。

Ⅲ 日本で地価・株価などが高騰するバブル経済(景気)が起こった。

ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

この問題は全体の正解率62%ながら、合格者・不合格者の差が29%とたいへん開き、文字通り合否をわけた問題となります。

この問題が、このように差が開いた理由として、3点あげられます。

1点目は、時代順の並べ替えの問題だということです。用語に関する問題や文章正誤問題すなわち歴史的な内容理解に関する問題はある程度学習できていることは入試結果からわかりますが、時代順の並べ替えの問題は、それらの問題よりも正解率が低い傾向にあります。歴史は、それぞれの事件や政策などを理解することも大切ですが、流れの把握も同様に大切です。流れがわからなければ本当の意味で歴史を理解したことにもなりません。内容の理解とともに、事件や社会の流れ・経緯も意識して学習してください。

2つ目は、現代史の問題ということです。幕末以降近現代の時代の問題、すなわち大問4で出題される範囲は、事象・背景なども複雑になり、それ以前と比べると理解するのに時間も労力も必要とします。また学校によっては、学習時間が限られてくるために授業内容が簡単になったり、省略されたりすることもあると聞いています。しかし、今に直結する重要な時代ですので、時間をかけて、しっかりと学習を重ねてください。

最後は、経済史の問題ということです。政治史・文化史に比べて、経済や社会に関する問題は、皆さんが中学になって初めて学習を深めた内容を多く含んでいますし、また内容も複雑な分野です。したがって、根気よく学習しないと、なかなか理解にはおよびません。その結果、入試の正解率に差がつきやすい学習項目になります。このような分野は早めに取り組み、入念に理解するように心掛けてください。

なお、この問題はⅡが高度経済成長の内容で、Ⅲが1980年代後半頃ということがわかれば、正解が「ウ」であることがわかるでしょう。上記の点に留意して、しっかりと準備してください。

(公民) 第2回入試大問6の(3)

(3) 下線部 c に関連して、次のⅠ～Ⅳのうち、日本の社会保障について正しく述べた文はいくつあるか。
最も適当なものを、あとのア～エのうちから一つ選びなさい。

Ⅰ 日本の社会保障制度は、日本国憲法第 25 条に定められた生存権などにもとづいている。

Ⅱ 社会保険のうちの介護保険には、20 歳以上の人加入することになっている。

Ⅲ 立場の弱い人を支援する社会福祉には、生活保護などがある。

Ⅳ 感染症の予防や予防接種などは、公的扶助に含まれている。

ア 一つ イ 二つ ウ 三つ エ 四つ

正答率が 59%と低い一方で、合否差 22%がついた問題です。比較的平均点の高い社会科の中で、合格者が他の受験生に差をつけた問題と言えそうです。

この問題で差がついた要因は二つ挙げられます。一つは、これが社会保障制度についての問題であることです。社会保障制度は社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生の四つの柱からなり、さらに、それぞれの柱に複数の制度が設けられ、仕組みが複雑で難問を作りやすい傾向にあります。一方で、社会保障制度は高齢化が進む中で、国の財政支出を増加させるなど理解しておくことの重要性が高まっており、問題出題者としては理解を問いたい分野でもあります。選択肢Ⅱは、介護保険の加入対象者が 40 歳以上であることを問うものであり、細かい知識のように思われるかもしれませんが、高齢化を背景に 2000 年に新設された制度であり、その点まで理解しておいて欲しいものです。

この問題で差がついた二つ目の要因は出題形式です。選択肢のうち正しいものを一つ選べば良い問題では消去法で解くことも可能ですが、この問題の形式では、全ての選択肢の正誤を確実に判別する必要があります。本校社会科の問題は、公立高校の問題を模していますが、本校の場合には正答率が高くなりがちのため、このような難しい出題形式も若干多めに取り入れています。注意して学習を進めてください。